

EFX-10D

AUDIO & MIDI Controller

オーナーズ・マニュアル
Version 1.0x

Musicom  **AB**

目次

1. はじめに	3	5. ファームウェアアップデート	29
1-1 主な特徴	3	6. ケーブル	30
1-2 スペシフィケーション	3	6-1 XPD L	30
1-3 ブロックダイヤグラム	4	6-2 ファンクションスイッチ	30
1-4 フロントパネル	4	7. 接続サンプル	31
1-5 リアパネル	5	7 ループの接続例	31
1-6 LCD ディスプレイ	6	10 ループの接続例	31
1-7 スイッチ周辺のキャラクター	6	3 台のステレオ FX との接続例	32
2. プリセットモードのベーシック操作	7	4 コネクション方式のモノ接続例	32
2-1 初期電源投入	7	Wet / Dry	33
2-2 ページ 1	7	Wet / Dry / Wet	33
2-3 ページ 2	7	8. MIDI スペシフィケーション	34
2-4 ページ 3	8	9. 安全にご使用いただくために	35
2-5 ページ 4	8	10. 品質保証	36
3. セットモード	9		
4. セットアップモード	10		
4-1 プリセット	11		
4-1-1 MIDI	11		
4-1-2 BPM / XPD L	12		
4-1-3 Loop Order	12		
4-2 ソング / セット	15		
4-2-1 MIDI	15		
4-2-2 セットの編集	15		
4-3 スイッチ	16		
4-3-1 プリセットスイッチとして割り当てる	17		
4-3-2 IA スイッチとして割り当てる	18		
4-3-3 他のスイッチを割り当てる	18		
4-4 セットタイトル	19		
4-4-1 プリセットタイトル	19		
4-4-2 ソングタイトル	19		
4-4-3 セットリストタイトル	20		
4-4-4 ページタイトル	20		
4-4-5 スイッチタイトル	20		
4-4-6 デバイスタイトル	21		
4-4-7 XPD L タイトル	21		
4-4-8 SysEx タイトル	21		
4-5 グローバル	22		
4-5-1 MIDI	22		
4-5-2 Audio	23		
4-5-3 Others	24		
4-6 スロット	25		
4-6-1 デバイス	25		
4-6-2 XPD L	25		
4-6-3 システム Ex	26		
4-7 ユーティリティ	27		
4-7-1 プリセットのコピー	27		
4-7-2 ソングのコピー	27		
4-7-3 セットコピー	27		
4-7-4 スイッチコピー	28		
4-7-5 ファクトリーリセット	28		
4-7-6 システム情報	28		

1. はじめに

Musicom Lab EFX-10D オーディオ・コントローラーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

EFX-10D オーディオ・コントローラーは、究極のフロアベースのオールインワンスイッチングシステムです。

EFX-10D はコンパクトで使いやすく、10 個の完全にプログラム可能なループ、4 つの機能スイッチ、および MIDI フットコントローラー機能を備えています。EFX-10D は強力な MIDI 機能を備えているため、ラックやマルチ&ペダルタイプのリグでも使用できます。

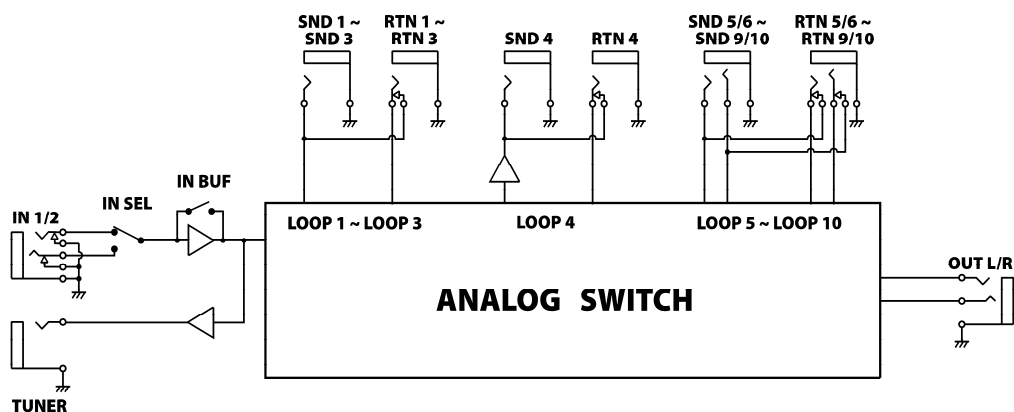
1-1. 主な特徴

- 10 モノラルオーディオループ。
- 2 つのモノラルループを 1 つのステレオループとして使用可能。
- プリセット毎にプログラム可能なループ順序。
- 最大 2 つのループをプリセット間のキャリーオーバーに割り当て可能。
- 2 つの入力のうちの 1 つは、TRS ジャックで各 IA スイッチによる入力バッファのオン / オフを選択可能。
- 出力 L/R は TRS ジャックが使用可能。
- ループ 5/6、ループ 7/8、ループ 9/10 は TRS ジャックが使用可能
- 2 つの TRS ジャックを介した 4 つのファンクションスイッチ
- 最大 800 のプリセット（200 バンク x 4 プリセット）と 1 つのグローバルプリセットの作成が可能。
- 最大 800 ソングまで作成可能
- 800 ソングを 120 ソングの 64 セットに編成できます。
- ユーザーの使用目的に合わせてスイッチを割り当てることができます。
- ポップノイズを軽減できるクリックレスファンクション
- プリセットが変更されると、16 個の MIDI（PC、CC、ノートなど）メッセージを送信します。ページに割り当てられたスイッチが押されたときに 8 つの MIDI（PC、CC、Note など）メッセージを送信します。
- MIDI タイムクロックを送信して、ファンクション スイッチと同期します。
- MIDI 互換ペダルと外部タップ入力ジャックを備えたペダルの両方のタップテンポ
- BPM は、各バンクプリセットとソングプリセットに保存可能です。
- XPD L ジャックには 2 つのフットスイッチを接続可能。
- PC または Mac への USB 接続。
- プリセット、ソング、セット、スイッチを簡単にコピー可。
- プリセット / 曲のタイトルやその他のステータスを表示できるグラフィック LCD ディスプレイを採用。

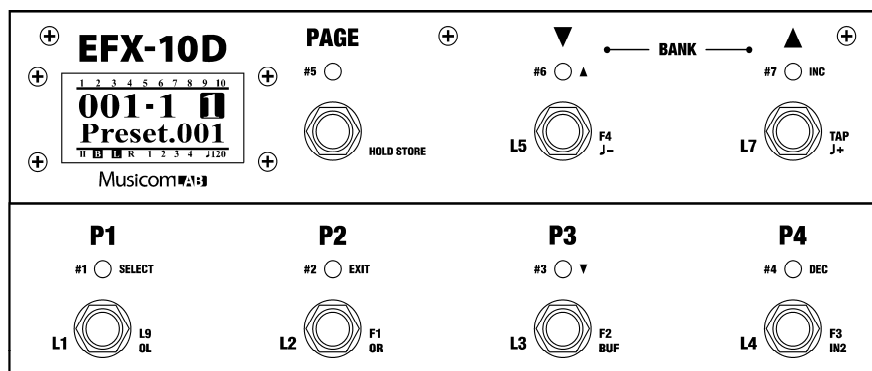
1-2. スペシフィケーション

- バッファ・インピーダンス1 M Ω
- バッファ・出力インピーダンス100 Ω
- ノーマルオーディオ信号レベル-10 dBu
- 最大オーディオ信号レベル+18 dBu
- 消費電流250 mA (DC9V Center Negative)
- サイズ263 mm (W) x 110 mm (D) x 68 mm (H)
- 重量1.0 Kg

1-3. ブロックダイアグラム



1-4. フロントパネル



P1 ~ P4 スイッチ

ページ1では、5プリセットの中から1つをリコールに使用します。他のページでは、これらのスイッチは各ループのオン / オフ、ファンクションスイッチ、出力、バッファのスイッチングを行います。

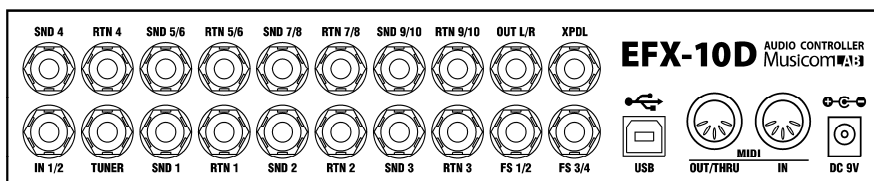
PAGE / ページ

このスイッチを押すと、各ループのオン / オフ、セッティングの保存ができる他ページへ移動します。このスイッチを1秒以上長押しすると、IA エディットが保存されページ1へ戻ります。ファクトリーセッティングは4ページ用意されています。ユーザーの選択で8ページまで使用できます。

BANK ▲ & BANK ▼ (バンクのアップ / ダウン)

EFX-10D 中の 800 のプリセットは4つのバンクに配置されており、これらのボタンを使用して、アクセスしたい4つのバンクを選択できます。プリセットモードでこのスイッチを押すとバンク番号が増減します。

1-5. リアパネル



IN 1/2

これは 2 つのギターが接続するメイン入力ジャック（TRS）です。

IN1 はチップに接続され、IN2 はリングに接続され、IN1 のみを使用する場合は TS プラグを挿入できます。2 つの入力は IA スイッチに切り替えることができます。23 ページ「4.5.2 オーディオ > In.2」をご覧ください。

TUNER/ チューナー 外部チューナーを接続する端子です。

SND1 ～ 4 および RTN1 ～ 4

これらのジャックはモノラルセンド / モノリターンエフェクトループを提供します。SND1 ～ 4 はエフェクトペダルに信号を送り、RTN1 ～ 4 はエフェクトペダルからの信号を受けます。SND1 ～ 4 端子を各エフェクターの INPUT 端子に接続し、RTN1 ～ 4 端子を各エフェクターの OUTPUT 端子に接続します。SND4 はバッファリングされた信号です。これは、ボリュームペダルを接続したり、システム内のインピーダンスを一定に維持したりする場合に便利です。

マニュアル 4 ページの「1.3 ブロックダイアグラム」をご覧ください。

SND5 ～ 10 および RTN5 ～ 10

これらのジャックは、2x モノセンド / 2x モノリターンのエフェクトループを提供します。SND 5 ～ 10 はエフェクトペダルに信号を送り、RTN5 ～ 10 はエフェクトペダルからの信号を受けます。SND5 ～ 10 端子を各エフェクターの INPUT 端子に接続し、RTN5 ～ 10 端子を各エフェクターの OUTPUT 端子に接続します。

24 ページ「4.5.2 Audio/ オーディオ > Loop.6/Loop.8/Loop10」をご覧ください。

	SND 5/6	RTN 5/6	SND 7/8	RTN 7/8	SND 9/10	RTN 9/10
TIP	SND 5	RTN 5	SND 7	RTN 7	SND 9	RTN 9
RING	SND 6	RTN 6	SND 8	RTN 8	SND 10	RTN 10

OUT L/R

これは 2 つのアンプへの接続が可能なメイン出力ジャック（TRS）です。

OUT L と OUT R は独立の ON/OFF が可能です。OUT L はチップに接続され、OUT R はリングに接続され、OUT R が無効の場合は TS プラグを挿入 & 使用できます。マニュアル 23 ページの「4.5.2 Audio/ オーディオ > Out.R」をご覧ください。

F1/F2 and F3/F4

アンプのチャンネル切り替えやリバーブのオン / オフ制御用のラッチまたはモーメンタリー機能スイッチジャックです。

各ファンクションスイッチに BPM のテンポを割り当てることができます。マニュアル 24 ページの「4.5.2 Audio/ オーディオ > Func1 ～ Func4」および 30 ページの「6.2 ファンクションスイッチ」をご覧ください。

XPDL

1/4 インチ TRS ケーブルを使用して、エクスプレッションペダルまたは 2 つの外部フットスイッチ（モーメンタリータイプ）をこのジャックに接続できます。EFX-10D に電源を供給する前に、TRS ケーブルを接続します。ケーブル接続については、マニュアル 30 ページの「6.1 XPDL」をご覧ください。

USB

この USB コネクターは、本機を PC または Mac に接続してデータを送受信したり、ファームウェアの更新に使用します。EFX-10D の USB は HID クラスまたは USB オーディオデバイスを使用しているため、ドライバーのインストールは必要ありません。

MIDI IN & MIDI OUT/THRU

MIDI IN コネクターは、外部 MIDI 機器から MIDI 信号を受けます。MIDI OUT/THRU コネクターは、MIDI 信号を外部 MIDI デバイスに供給するために使用されます。MIDI OUT/THRU を「THRU」に設定すると、MIDI IN で受信した MIDI 信号はそのまま EFX-10D を通過します。マニュアル 22 ページの「4.5.1 MIDI > In/Out」をご覧ください。

DC 9V

これは EFX-10D の主電源入力です。EFX-10D には DC9 電源が必要です。消費電流は DC9V（センターマイナス）で約 250mA です。

1-6. LCD ディスプレイ

① バンク / ソングナンバー

現在のバンク / ソングナンバーを表示します。

② プリセットナンバー

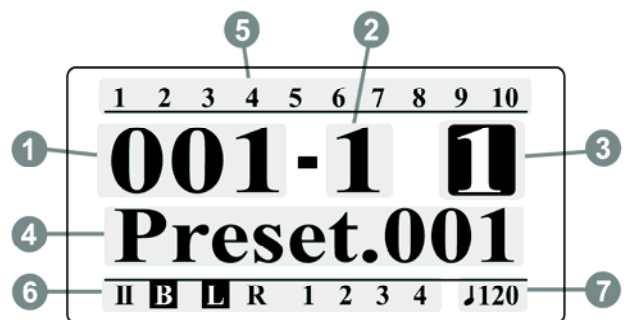
現在のバンク / ソングのプリセットナンバーを表示します。

③ ページナンバー

現在のページナンバーを表示します。

④ タイトル

現在のプリセットのプリセットタイトルを表示します。
また、スイッチを押すと、スイッチのタイトル、音量、または BPM を短時間表示します。



⑤ オーディオループのステータス

10 個のオーディオループのうちどれが現在アクティブであるか表示します。

⑥ 入力、バッファー、出力、およびファンクションスイッチのステータス

この領域は、入力、バッファー、出力、および機能スイッチのどれが現在アクティブであることを示します。

⑦ BPM

現在動作中の BPM を表示します。

1-7. スイッチ周辺のキャラクター

① ページ 1 に割り当てられたスイッチ機能

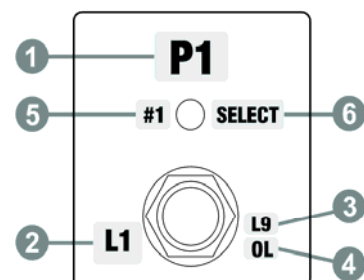
② ページ 2 に割り当てられた機能を切り替えます。

③ ページ 3 に割り当てられた機能を切り替えます。

④ ページ 4 に割り当てられたスイッチ機能。

⑤ スイッチ機能を設定するために使用されるスイッチ固有の番号。

⑥ セットアップモードで使用するスイッチ機能。



2. プリセットモードのベーシック操作

2-1. 初期電源投入

EFX-10D には DC9V 電源が必要です。最初の電源投入時に、EFX-10D は LCD ディスプレイに動作モードを表示し、バンク 1 またはソング 1 の最初のプリセットから始まります。

2-2. ページ 1

プリセットを選択する

EFX-10D には 800 のプリセットと選択できる 1 つのグローバルプリセットがあり、5 つのバンクに配置されています。

EFX-10D の電源を入れると、ページ 1、プリセット 1、バンク 1 が選択されます。

BANK ▼または BANK ▲スイッチを長押しして他のバンクを移動し、4 つのスイッチ（P1 ～ P4）のいずれかを押しして新しいバンクのプリセットを選択します。

- ① BANK ▼または BANK ▲スイッチを押したままにして、使用できる 200 のバンクをスクロールします。
- ② LCD ディスプレイのバンクナンバーが点滅し、P1 ～ P4 スイッチ上の LED が消灯します。
- ③ プリセットは、P1 から P4 までのいずれかのスイッチを押して選択します。
- ④ LCD ディスプレイのバンク番号の点滅が止まり、スイッチ上の LED がブルーに点灯します。

グローバルプリセットは、プリセット 1 ～ 4 のすべての機能を備えたプリセットですが、すべてのバンクで同じです。すでにオンになっているプリセットのスイッチを押すと、グローバルプリセットが選択され、スイッチ上の LED がオフになります。グローバルプリセットの有効 / 無効については、マニュアル 24 ページの「4.5.3 Other/ その他 >2nd.Press Pst」をご覧ください。

ページ変更

Page スイッチには 2 つの機能が設定されています。短く押すとページナンバーが増え、長押しすると変更された IA の組み合わせが現プリセットに保存されます。以下の表は、1 ページ目（Page 1）の各スイッチ機能です。

次の表は、ページ 1 のスイッチの機能です。

	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6	SW7
Normal	Preset1	Preset2	Preset3	Preset4	Page+	BANK-	BANK+
Hold	None	None	None	None	IA Store	BANK-	BANK+

2-3. ページ 2

個々のループのオン / オフを切り替える

オーディオループ（L1 ～ L7）は、ページ 2（Page 2）の割り当てられたスイッチで個別にオン / オフできます。

以下の表は、2 ページ目（Page 2）の各スイッチ機能です

	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6	SW7
Normal	L1	L2	L3	L4	Page+	L5	L7
Hold	None	None	None	None	IA Store	None	None

2-4. ページ 3

個々のオーディオループのオン / オフを切り替える

オーディオループ（L9）は、3 ページ目の割り当てられたスイッチで個別にオン / オフすることができます。

個別の機能スイッチをオン / オフする

ファンクションスイッチ（F1 ～ F4）は、3 ページ目の割り当てられたスイッチで個別にオン / オフすることができます。

BPM 変更

TAP スイッチをタップすると、タップのテンポに合わせて MIDI タイムクロックまたは F1 ～ F4 のレートが変更されます。このとき、タップテンポに合わせてグローバル BPM が変更され、変更された BPM が LCD ディスプレイに表示されます。変更されたグローバル BPM は、現バンクまたはソングに適用されます。つまり、現バンクまたはソングに保存されているプリセット BPM は無視されます。

以下の表は、ページ 3（Page 3）の各スイッチ機能です。

	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6	SW7
Normal	L9	F1	F2	F3	Page+	F4	Tap
Hold	None	None	None	None	IA Store	None	None

2-5. ページ 4

入力バッファのオン / オフを切り替える

入力バッファ（BUF）は 4 ページの割り当てられたスイッチでオン / オフすることができます。

2 つの出力をオン / オフする

2 つの出力（OL と OR）は、ページ 4 の割り当てられたスイッチで個別にオン / オフできます。

IN1 または IN2 のいずれかを選択する

2 つの入力（IN1 & IN2）は、4 ページ（Page 4）の割り当てられたスイッチで選択できます。

BPM の増減

4 ページ（Page 4）の割り当てられたスイッチで BPM（プリセット BPM）を増減できます。

以下の表は、4 ページ（Page 4）の各スイッチ機能です。

	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6	SW7
Normal	OUT L	OUT R	Input Buffer	IN2	Page+	Pst. BPM-	Pst. BPM+
Hold	None	None	None	Vol.A-	IA Store	Pst. BPM-	Pst. BPM+

3. SET MODE / セットモード

EFX-10D には最大 800 ソング (song) を収録できます。

ソング (song) は、特定のソングで使用するために選択された 4 つのプリセット (最大 7 つのプリセット) のグループです。ソング (song) 内の各プリセットは、800 個のプリセットから選択できます。

ソングの編集については、マニュアル 15 ページの「4.2.1 Edit Song/ ソングの編集」をご覧ください。

セット動作モードでは、EFX-10D の 800 ソング (song) のうち最大 120 ソング (song) を任意の順序で並べてセットを作成できます。EFX-10D には最大 64 の異なるセットがあります。

セットリストの編集については、マニュアル 15 ページの「4.2.2 Edit Set/ セットの編集」をご覧ください。

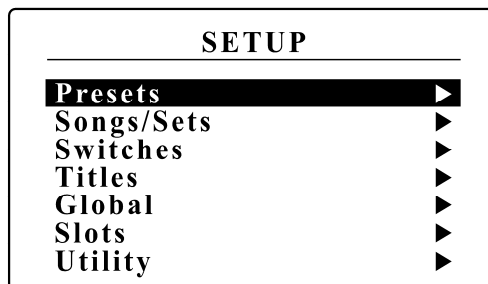
セットモードの各スイッチは、プリセットモードと同じ機能を実行します。

ただし、BANK ▼と BANK ▲スイッチはバンクからバンクに移動するのではなく、ソング (song) からソングに移動します。

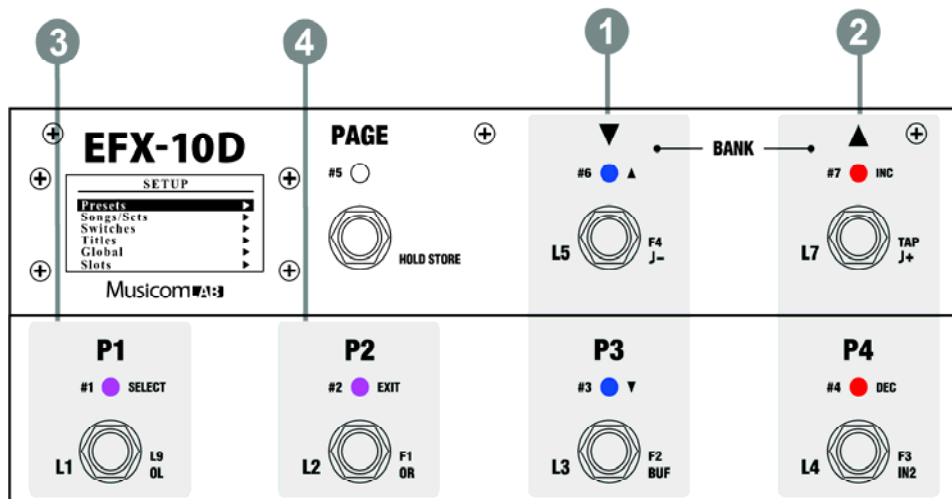
動作モードの変更については、マニュアル 24 ページの「4.5.3 Other/ その他 > Op.Mode/ 動作モード」をご覧ください。

4. SETUP MODE / セットアップモード

SETUP モードに入るには、ページ 1 (Page 1) で #5 (PAGE) と #7 (BANK ▲) スイッチを同時に押します。
LCD ディスプレイには次のメニューが表示されます。



下図のスイッチ機能は SETUP モードで共通です。



① SW#1

押す: 選択したメニューのサブメニューに入ります。

長押し: 加えた変更を保存します。ユーティリティメニューで、コピーまたは工場出荷時設定へのリセットを開始します。

・ 選択したメニューの右側に三角形の文字がある場合は、サブメニューが存在することを意味します。

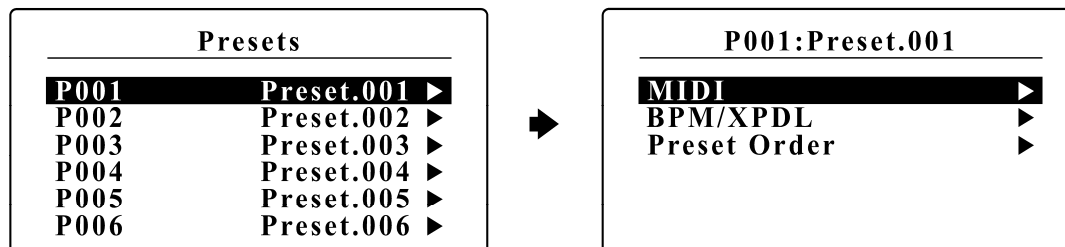
② SW#2 - 前のメニューに戻ります。

③ SW#3 & SW#6 - 選択可能なメニューを上下に移動します。

④ SW#4 & SW#7 - 選択したメニューのパラメータを増減します。

4-1. Presets/ プリセット

編集したいプリセットを選択します。プリセットタイトルも一緒に表示され、プリセットの選択が容易になります。
LCD ディスプレイにサブメニューが表示されます。



4-1-1. MIDI

EFX-10D は、プリセットがリコールされるときに最大 16 個の MIDI メッセージが送信できます。16 個の MIDI メッセージが MIDI01 ～ MIDI16 として表示され、それぞれにプログラムチェンジ、コントロールチェンジ、ノートのオン / オフ、さらには SysEx などのさまざまな MIDI メッセージを割り当てることができます。このメニューでは、選択したプリセットに最大 16 個の MIDI メッセージ（MIDI01 ～ MIDI16）を割り当てることができます。

P001 ▶ MIDI	
MIDI01	PC ▶
MIDI02	None ▶
MIDI03	None ▶
MIDI04	None ▶
MIDI05	None ▶
MIDI06	None ▶

None

MIDI メッセージは送信されません。

PC (Program Change/ プログラムチェンジ)

Device : このプログラムチェンジメッセージを受信するデバイスを選択します。

PC# : 送信するプログラム番号を選択します。

・ MIDI デバイスの編集については、マニュアル 25 ページの「4.6.1 4.6.1 Device/ デバイス」をご覧ください。

CC (Control Change/ コントロールチェンジ)

Device : このコントロールチェンジメッセージを受信するデバイスを選択します。

CC# : 送信するコントローラー番号を選択します。

Value : 送信するコントローラーの値を選択します。

Note On/Off

Device : ノート オン / オフ メッセージを受信するデバイスを選択します。

Note# : 送信するノートナンバーを選択します。

Velocity : ノートのベロシティを選択します。

SysRT (System Real-Time/ システムリアルタイム)

Port : SysRT メッセージの出力ポートを選択します。(MIDI OUT または USB)

Message : 次のいずれかを選択します : None、Start、Continue、Stop

SysEx (System Exclusive/ システムエクスクルーシブ)

Message : 64 個のシステムエクスクルーシブスロットの 1 つを選択します。

・システムエクスクルーシブスロットの編集については、マニュアル 26 ページの「4.6.3 SysEx/ システム Ex」をご覧ください。

Delay (ディレイ)

Time : 次の MIDI メッセージを送信する前に一時停止する時間を最大 99ms まで選択できます。

一部の MIDI デバイスは、連続入力 MIDI メッセージを認識しません。この場合、時間遅延を使い問題を解決できます。

4-1-2. BPM/XPDL

このメニューでは、BPM と XPDL を現プリセットに割り当てることができます。

BPM は、グローバル BPM またはプリセット固有の BPM を使うように設定できます。

XPDL は 64 個の XPDL スロットから 1 つを選択できます。

エクスプレッション・ペダルを使うか、2 つのフットスイッチを使うかを選択する場合は、22 ページ「4.5.1 MIDI > Rpt.PC/ XPDL.Src」および 25 ページ「4.6.2 XPDL」をご覧ください。



BPM

Global : 現プリセットがリコールされると、BPM はグローバル BPM と連動します。

40 - 209 : 現プリセットが呼び出されたとき、BPM はこのメニューの現在の値で動作します。

Same : BPM は以前のプリセット BPM と連動します。

None : BPM が機能していません。

XPDL - 64 個の XPDL スロットの 1 つを選択します。

4-1-3. Loop Order/ ループ順序

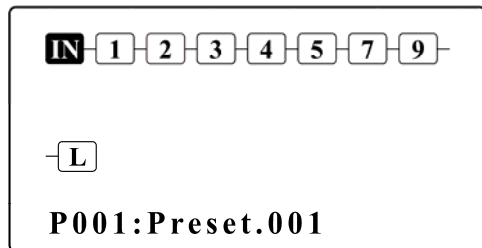
このメニューでは、ループ順序と信号ルーティングが変更でき、次の設定を行うことができます。

- エフェクトループの接続順序を変更する
- スプリット接続を作成する
- キャリーオーバーの指定

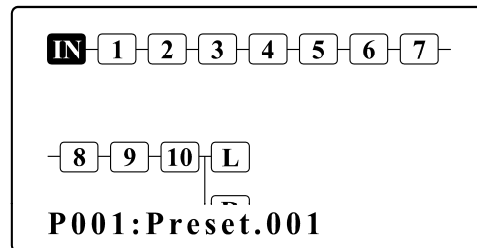
Symbol	Description	Symbol	Description
IN	Input	1 2 10	Loop 1 ~ Loop 10
L R	Two Outputs (Left/Right)	1 2 10	Carry-Over Loop

信号ルーティングを変更するには、以下の制限があります。

- 入力と出力は移動できません。
- 前に信号を分割した場合は、それ以降は再度信号を分割することはできません。



Out.R、Loop6、Loop8、および Loop10 は無効になります。



Out.R、Loop6、Loop8、および Loop10 が有効になります。

以下は Preset Order ウィンドウのスイッチ機能です。

SW#3 & SW#6 – ハイライト表示された領域を左右に移動して、オーディオループを選択します。

SW#4 & SW#7 – 押す：選択したオーディオループを左 / 右に移動します。

長押し：選択したオーディオループを上下に移動します。

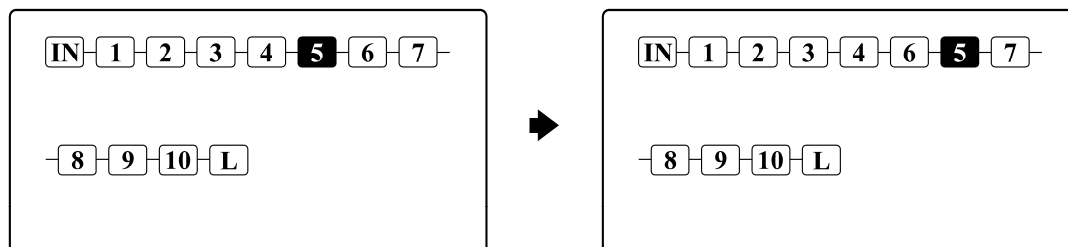
SW#5 – 押す：信号を分割するか、すでに分割されている場合は削除します。

長押し：選択したループをキャリーオーバーに設定するか、すでに設定されている場合は無効にします。

SW#1 – 押す：加えられた変更を保存します。

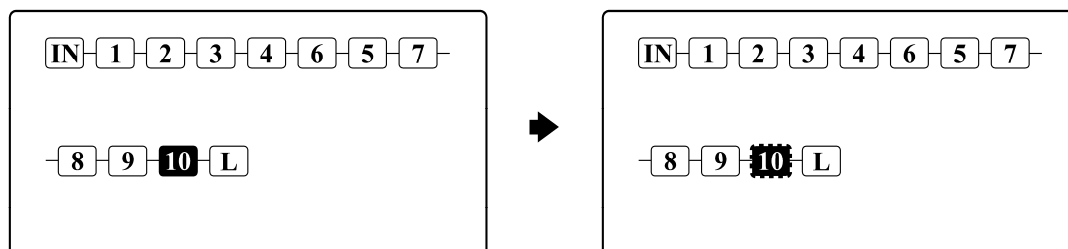
SW#2 – 前のメニューに戻ります。

例 1) ループ 5 をループ 6 の次の位置に移動



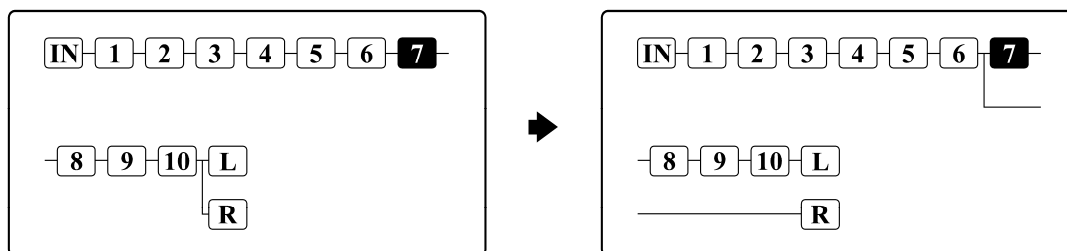
ループ 5 を選択し、スイッチ #7 を押して右に移動します。

例 2) ループ 10 をキャリーオーバーに設定

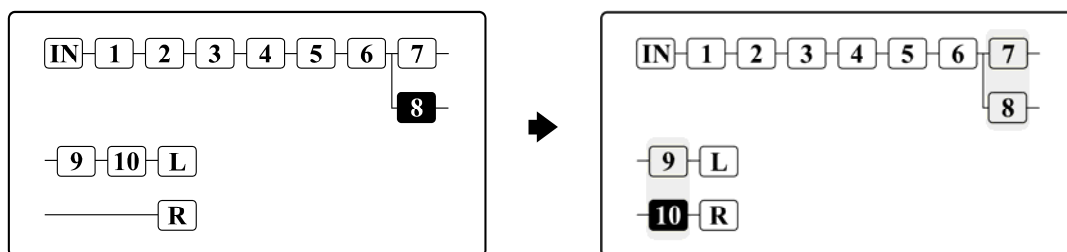


Loop10 を選択し、スイッチ #6 を長押ししてキャリーオーバーに設定します。

例 3) 4 つのモノラルループを 2 つのステレオループとして使用する



1. ループ 7 を選択します。
2. スイッチ #5 を押して、信号を分割します。



3. ループ 8 を選択し、スイッチ #4 を押したままにして、下の行に移動します。
4. ループ 10 を選択し、スイッチ #4 を押したまま、それを下の行に移動します。

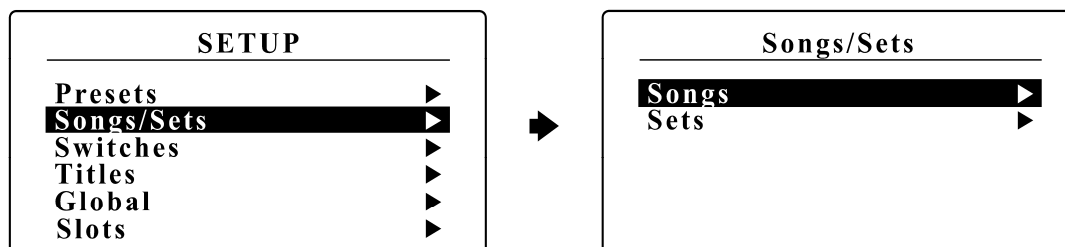
2 つのオーディオループを 1 つの IA スイッチに割り当てる場合は、

18 ページ「4.3.2 IA スイッチとして割り当てる > Audio/ オーディオ」をご覧ください。

4-2. Songs/Sets/ ソング / セット

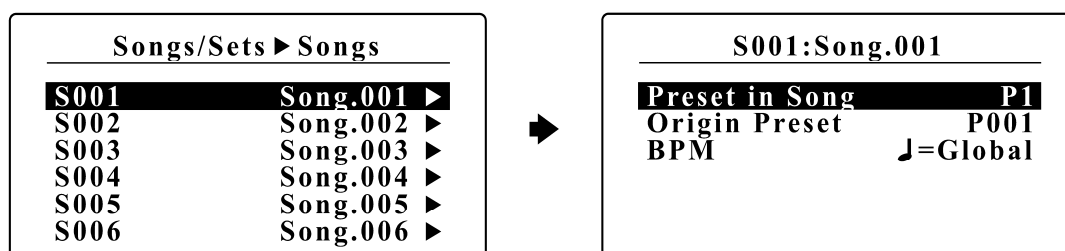
Songs/Sets メニューを使用すると、EFX-10D の通常のプリセットをカスタムバンクに編成して、ソング /Song（またはプリセットのカスタムバンク）を編集できます。複数の曲をバンクに配置してセット /Set を作成できます。

メインの SETUP メニューから Songs/Sets を選択すると、サブメニューに移動して、ソングを編集するかセットを編集するかを選択できます。LCD ディスプレイにサブメニューが表示されます。



4-2-1. Edit Song/ ソングの編集

編集したいソングを選択します。曲名（ソング）も一緒に表示できるので、ソングの選択が簡単になります。
LCD ディスプレイにサブメニューが表示されます。



Preset in Song – 編集されるソング内のプリセット。(P7 まで)

Origin Preset – 曲で使用されるオリジナルのプリセット番号。(P001 ～ P800)

BPM

Global : 現プリセットがリコールされると、BPM はグローバル BPM と連動します。

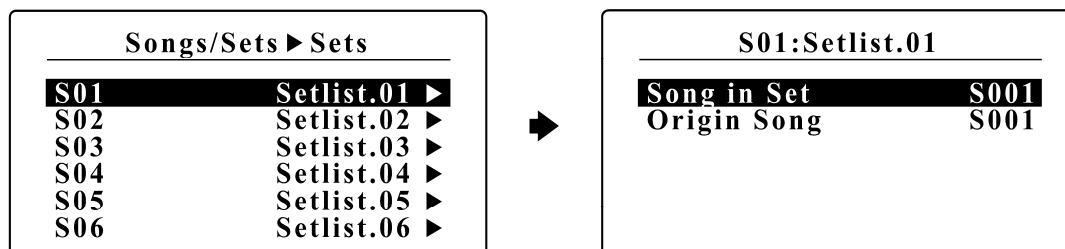
40 - 209 : 現在の曲（ソング）のプリセットが呼び出されたとき、BPM はこのメニューの現在の値で動作します。

Same : BPM は以前のプリセット BPM と連動します。

None : BPM が機能していません。

4-2-2. Edit Set/ セットの編集

編集したいセットを選択します。セットタイトルも一緒に表示され、セット選びが容易になります。
LCD ディスプレイにサブメニューが表示されます。



Song in Set/ セット内の曲 – 編集されるセット内の曲。(S001 ～ S120)

Origin Song – セットで使用されるオリジナルの曲の番号。(S001 ～ S800)

4-3. Switches/ スイッチ

このスイッチメニューでは、各ページに割り当てられたスイッチの機能を設定できます。

最大 8 ページまでスイッチに完全に異なる機能を設定できます。スイッチを押したとき（ノーマル / Normal として表示）と長押ししたとき（ホールド / Hold として表示）で、スイッチの機能を別々に割り当てることもできます。工場出荷時の設定では 4 ページあり、各スイッチ機能については次の表をご覧ください。

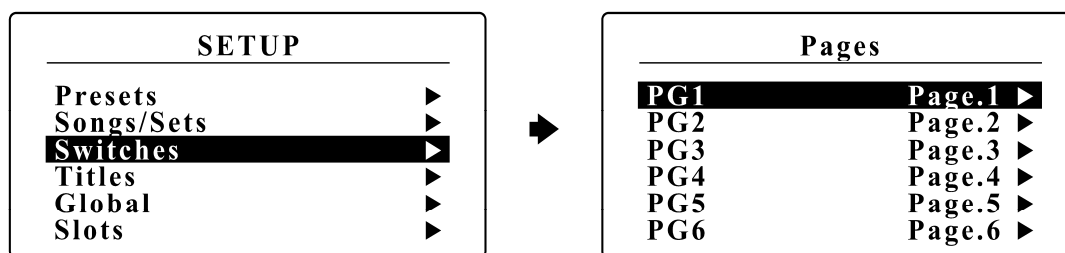
		SW#1	SW#2	SW#3	SW#4	SW#5	SW#6	SW#7	SW#8	SW#9
Page1	Normal	P1	P2	P3	P4	Page+	Bank-	Bank+	x	x
	Hold	x	x	x	x	Store	Bank-	Bank+	x	x
Page2	Normal	L1	L2	L3	L4	Page+	L5	L7	x	x
	Hold	x	x	x	x	Store	x	x	x	x
Page3	Normal	L9	F1	F2	F3	Page+	F4	TAP	x	x
	Hold	x	x	x	x	Store	x	x	x	x
Page4	Normal	OL	OR	BUF	IN2	Page+	P.BPM-	P.BPM+	x	x
	Hold	x	x	x	x	Store	P.BPM-	P.BPM+	x	x

- SW#8 と SW#9 は、2 つの外部フットスイッチが XPD ジャックに接続されている場合を意味します。22 ページ「4.5.1 MIDI > Rpt.PC/XPDL.Src」および 30 ページ「6.1 XPDL」をご覧ください。

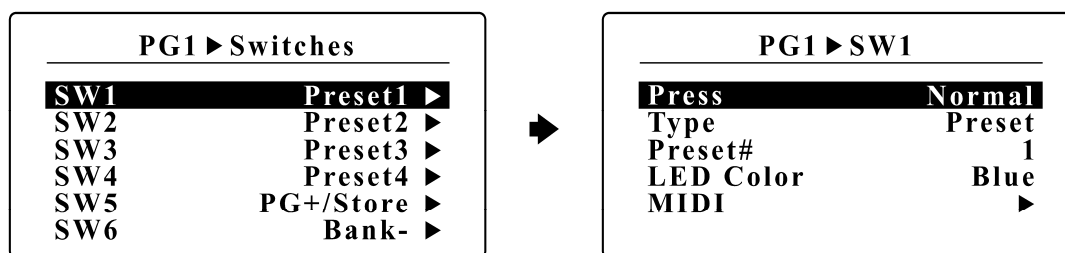
各スイッチには、次の表にリストされているスイッチのいずれかを割り当てることができます。

None	機能なし
Preset	プリセットの選択
IA	特定機能の on/off へのインスタントアクセス
Tap Tempo	スイッチをタップして BPM を変更
IA Store	IA スwitchの組み合わせを保存
Goto Page	指定したページへ移動
Page+	ページナンバーを増やす
Page-	ページナンバーを減らす
Bank+	バンクナンバーの増加
Bank-	バンクナンバーの減少
Inc+	特定パラメーターの増加
Dec-	特定パラメーターの減少
Pst.BPM+	プリセットの BPM を上げる
Pst.BPM-	プリセットの BPM を下げる

メインの SETUP メニューから Switches メニューを選択すると、サブメニューへ移動し、編集したいスイッチのあるページが選択できます。編集したいページをスイッチで選択するとページタイトルも一緒に表示されます。



編集したいスイッチを選択すると、詳細を編集できるサブメニューへ移動します。編集したいスイッチを選択すると、スイッチタイトルも一緒に表示されます。

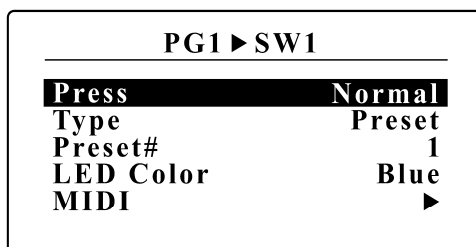


Press - 1 つのスイッチの押し方に応じて 2 つの機能が設定できます。

ノーマル /Normal : スイッチを短く押す。

長押し /Hold : スイッチを 1 秒以上長押しする。

4-3-1. プリセットスイッチとして割り当てる



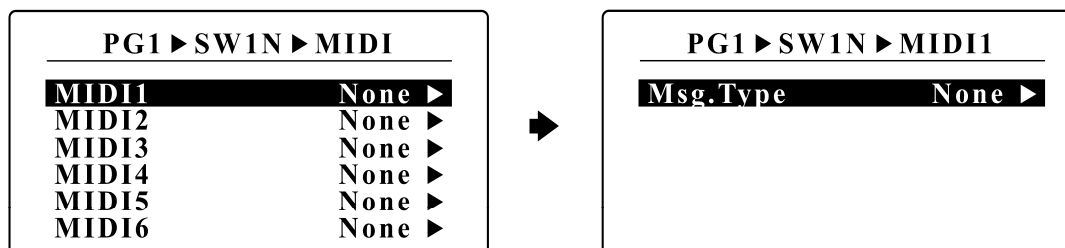
Preset# - バンクまたはソングでスイッチが使用されるプリセットナンバー (1 ~ 7)

LED カラー - スイッチが押されたときに点灯する LED カラー (なし、ブルー、レッド、パープル)

MIDI - EFX-10D は、スイッチが押されたときに最大 8 つの MIDI メッセージが送信できます。

8 つの MIDI メッセージは MIDI01 ~ MIDI08 として表示されます。MIDI の割り当て手順は 4.1.1 MIDI と同じです。

11 ページ「4.1.1 MIDI」をご覧ください。



4-3-2. IA スイッチとして割り当てる

PG2 ▶ SW1	
Press	Normal
Type	IA
LED Color	Red
MIDI	▶
Audio	▶
IA Setting	▶

LED カラー – スイッチが押されたときに点灯する LED カラー（なし、ブルー、レッド、パープル）

MIDI – MIDI の設定手順はプリセットスイッチと同じです。

Audio/ オーディオ – IA スイッチには、最大 8 つのオーディオアクションを割り当てることができます。

8 つのオーディオアクションが Audio1 ～ Audio8 として表示されます。オーディオアクションの極性を設定することもできます。

PG2 ▶ SW1N ▶ Audio	
Audio1	Loop.1 ▶
Audio2	None ▶
Audio3	None ▶
Audio4	None ▶
Audio5	None ▶
Audio6	None ▶

➡

PG2 ▶ SW1N ▶ Audio1	
Assign	Loop.1
Polarity	Normal

IA Setting - IA 設定では、IA スイッチのプロパティを設定できます。

PG2 ▶ SW1N ▶ IA Setting	
SW Action	Latched
Pst Change	Link
Group	None

Sw Func	Latched	ラッチ型として機能します。
	Momentary	モーメンタリー型として動作します。
Pst Change	Link	初期値は新しいプリセットをリコールしたときに保存される IA 値と同じです。
	Float/Clr	新しいプリセットをリコールしたときの初期値は OFF です。IA 値はプリセットには保存されません。
	Float/NC	新しいプリセットを呼び出しても変化はありません。IA 値はプリセットには保存されません。
Group	IA スイッチが属するグループ。	

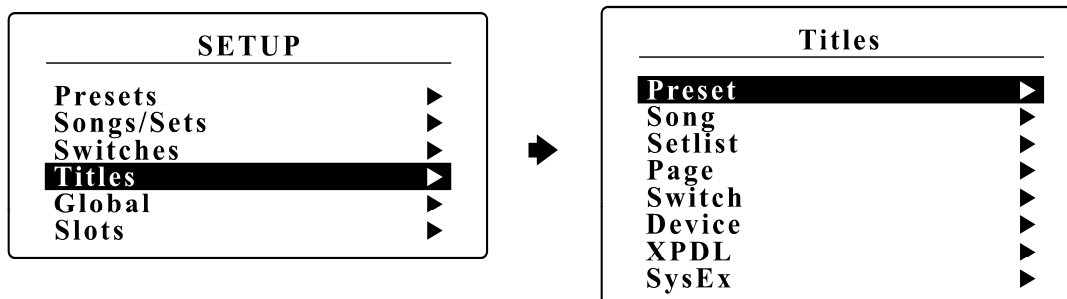
4-3-3. 他のスイッチとして割り当てる

他のスイッチの割り当て手順はプリセットスイッチや IA スイッチと同様です。

4-4. Titles/ タイトル

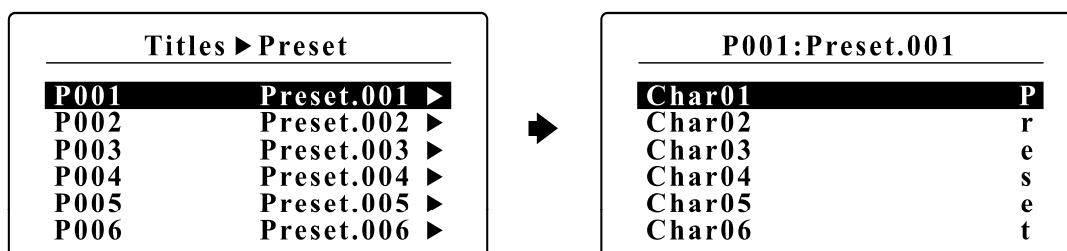
Titles メニューでは、各プリセット、ソング、セット、ページ、スイッチ、デバイス、XPDL、および SysEx にカスタムタイトルを入力できます。各カスタムタイトルの長さは最大 16 文字です。

メインの SETUP メニューから Titles メニューを選択すると、編集するタイトルを選択できるサブメニューへ移動できます。LCD ディスプレイにサブメニューが表示されます。



4-4-1. Preset Titel/ プリセットタイトル

タイトルを編集するプリセットを選択します。プリセットタイトルも一緒に表示され、プリセットの選択が容易になります。LCD ディスプレイにサブメニューが表示されます。



SW#3 & SW#6 – 選択可能なメニューを上下に移動します。

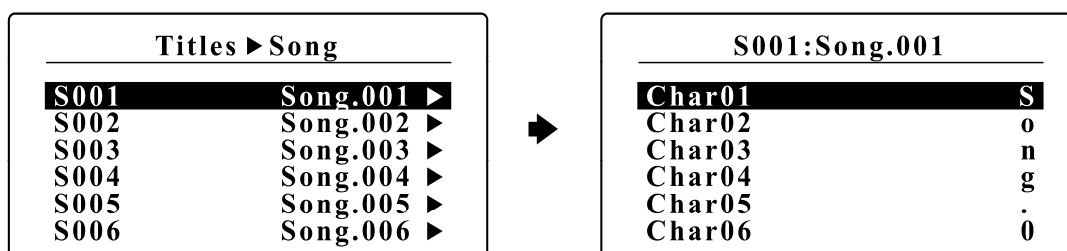
SW#4 & SW#7 – 使用可能な文字を移動 / スクロールします。

SW#1 – 長押しして変更を保存します。

SW#2 – 前のメニューに戻ります。

4-4-2. Song Title/ ソングタイトル

タイトルを編集するソングを選択します。曲名も一緒に表示されるので、曲の選択が容易になります。LCD ディスプレイにサブメニューが表示されます。



SW#3 & SW#6 – 選択可能なメニューを上下に移動します。

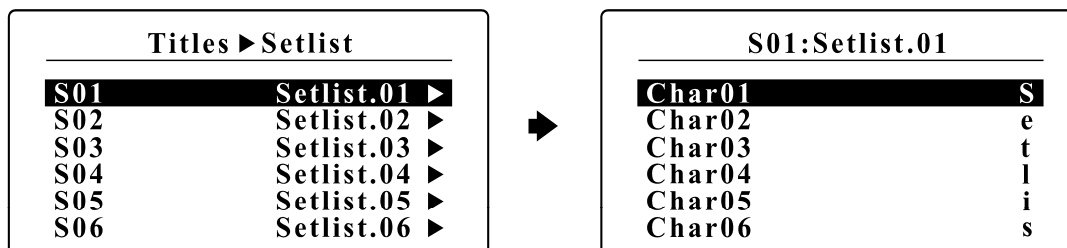
SW#4 & SW#7 – 使用可能な文字を移動 / スクロールします。

SW#1 – 長押しして変更を保存します。

SW#2 – 前のメニューに戻ります。

4-4-3. Setlist Title / セットリストタイトル

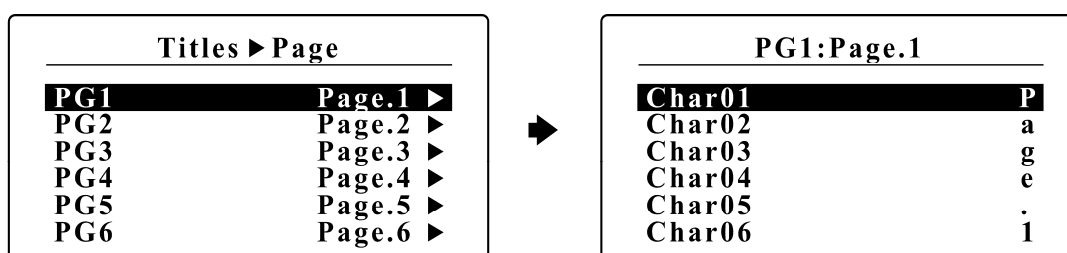
タイトルを編集するセットを選択します。セットタイトルも一緒に表示されるので、セットの選択が容易になります。
LCD ディスプレイにサブメニューが表示されます。



- SW#3 & SW#6** – 選択可能なメニューを上下に移動します。
- SW#4 & SW#7** – 使用可能な文字を移動 / スクロールします。
- SW#1** – 長押しして変更を保存します。
- SW#2** – 前のメニューに戻ります。

4-4-4. Page Title / ページタイトル

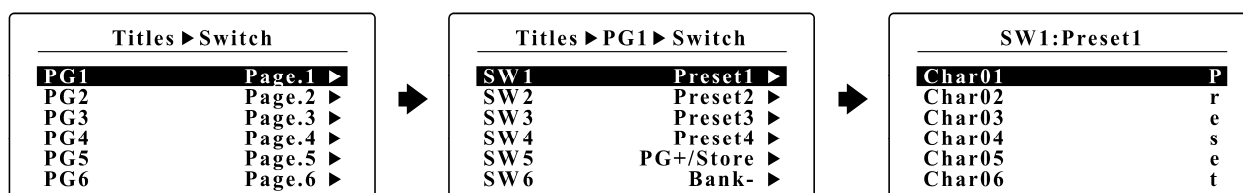
タイトルを編集するページを選択します。ページタイトルも一緒に表示されるので、ページが選びやすくなります。
LCD ディスプレイにサブメニューが表示されます。



- SW#3 & SW#6** – 選択可能なメニューを上下に移動します。
- SW#4 & SW#7** – 使用可能な文字を移動 / スクロールします。
- SW#1** – 長押しして変更を保存します。
- SW#2** – 前のメニューに戻ります。

4-4-5. Switch Title / スイッチタイトル

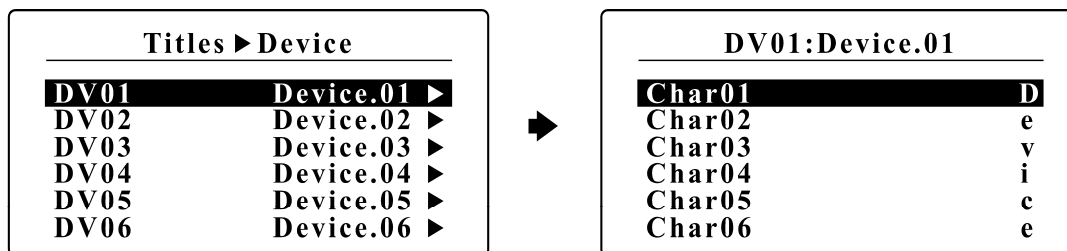
スイッチ / Switch が存在するページを選択します。次に、タイトルを編集するスイッチを選択します。スイッチタイトルも併せて表示され、スイッチの選択が容易になります。LCD ディスプレイにサブメニューが表示されます。



- SW#3 & SW#6** – 選択可能なメニューを上下に移動します。
- SW#4 & SW#7** – 使用可能な文字を移動 / スクロールします。
- SW#1** – 長押しして変更を保存します。
- SW#2** – 前のメニューに戻ります。

4-4-6. Device Title/ デバイスタイトル

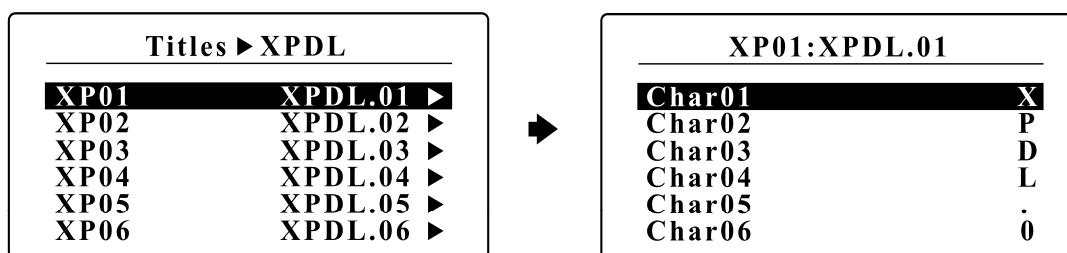
タイトルを編集する機器（デバイス）を選択します。デバイスタイトルも併せて表示され、デバイスの選択が容易になります。
LCD ディスプレイにサブメニューが表示されます。



- SW#3 & SW#6** – 選択可能なメニューを上下に移動します。
- SW#4 & SW#7** – 使用可能な文字を移動 / スクロールします。
- SW#1** – 長押しして変更を保存します。
- SW#2** – 前のメニューに戻ります。

4-4-7. XPDL タイトル

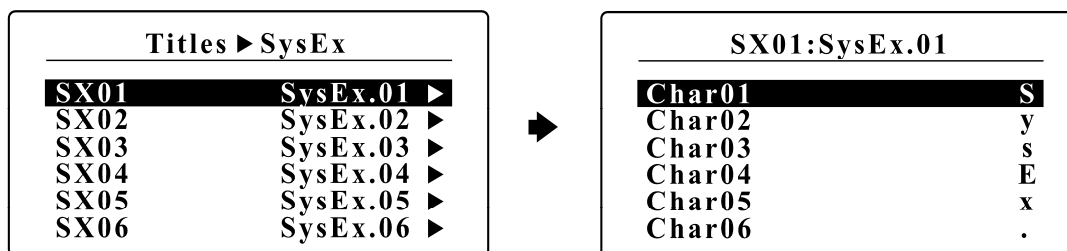
タイトルを編集するには、XPDL を選択します。XPDL のタイトルも一緒に表示され、XPDL の選択が容易になります。
LCD ディスプレイにサブメニューが表示されます。



- SW#3 & SW#6** – 選択可能なメニューを上下に移動します。
- SW#4 & SW#7** – 使用可能な文字を移動 / スクロールします。
- SW#1** – 長押しして変更を保存します。
- SW#2** – 前のメニューに戻ります。

4-4-8. SysEx タイトル

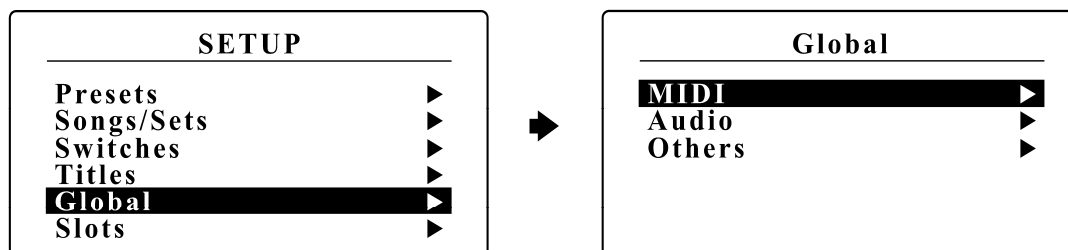
タイトルを編集する SysEx を選択します。SysEx のタイトルも一緒に表示され、SysEx の選択が容易になります。
LCD ディスプレイにサブメニューが表示されます。



- SW#3 & SW#6** – 選択可能なメニューを上下に移動します。
- SW#4 & SW#7** – 使用可能な文字を移動 / スクロールします。
- SW#1** – 長押しして変更を保存します。
- SW#2** – 前のメニューに戻ります。

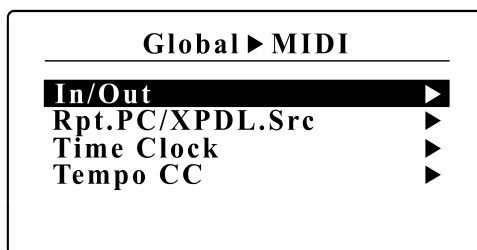
4-5. Global / グローバル

グローバルメニューでは、MIDI、オーディオ、その他を選択して EFX-10D の一般的な機能を設定できます。
メインの SETUP メニューから Global を選択すると、サブメニューに移動できます。LCD ディスプレイにサブメニューが表示されます。

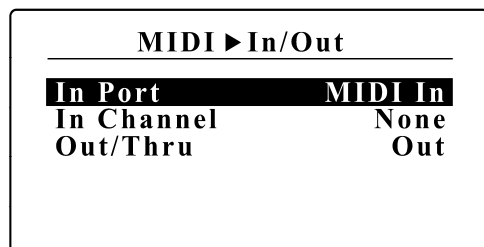


4-5-1. MIDI

MIDI メニューでは、EFX-10D の一般的な MIDI 機能を設定することができ、以下の 4 つの詳細メニューに分かれています。



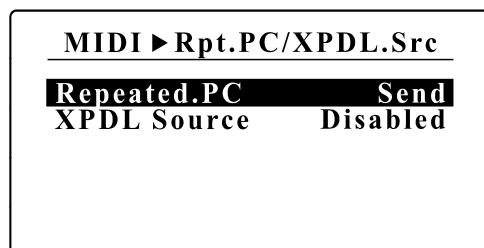
In / Out



In Port/Channel - EFX-10D が受ける MIDI メッセージに
応答する MIDI ポート / チャンネル。

Out/Thru - Out に設定すると、EFX-10D のコントロールに
よって生成された MIDI メッセージが MIDI 出力から送信されま
す。THRU に設定すると、MIDI 入力に到着した MIDI メッセー
ジがそのまま MIDI 出力から送信されます。

Rpt.PC / XPDL.Src



Repeated.PC : 現 MIDI プログラムチェンジナンバーが前回と
同じ場合に、MIDI プログラムチェンジメッセージを送信する
かどうかを選択します。

XPDL Source - XPDL ジャックにエクспレッション・ペダ
ルまたは 2 つのフットスイッチのどちらを接続するかを選択し
ます。

Time Clock/ タイムクロック

MIDI ▶ Time Clock	
Send	Disabled
Receive	Disabled

Send - MIDI タイムクロックを MIDI Out、USB、または Disable に送信するかどうかを選択します。

Receive - MIDI タイムクロックを受信するかどうかを選択します。

Tempo CC/ テンポ CC

MIDI ▶ Tempo CC	
Device	Device.01
CC#	None
On.Value	127
Off.Value	000

一部の MIDI デバイスは、MIDI タイムクロックではなく MIDI コントロールチェンジをテンポメッセージとして受信します。このページでは、MIDI コントロールチェンジ (CC) をこれらのユニットのテンポとして設定できます。

Device - このコントロールチェンジメッセージを受信するデバイスを選択します。

CC# - 送信するコントローラー番号を選択します。

On.Value/Off.Value - 4 分音符を 2 つに分割し、最初に ON 値を送信し、次に OFF 値を送信します。

4-5-2. Audio

Audio メニューでは、EFX-10D の一般的なオーディオ機能を設定でき、以下の 10 個の詳細メニューに分かれています。

Global ▶ Audio	
Clickless	Disabled
In.2	Disabled
Out.R	Disabled
Loop.6	Disabled
Loop.8	Disabled
Loop.10	Disabled
Func.1	Latched
Func.2	Latched
Func.3	Latched
Func.4	Latched

Clickless/ クリックレス

クリックレスコントロールは、オーディオループの状態が変化したときのポップノイズを軽減するのに優れています。

Disabled/ 無効 - クリックレスコントロールを無効にします。

Enabled/ 有効 - オーディオステータスが変更されると、クリックレスコントロールが有効になります。

In.2

IN1/2 ジャックのリング付き IN2 を有効にするか無効にするかを選択します。

Out.R

OUT L/R ジャックのリングによる OUT R を有効にするか無効にするかを選択します。

Loop.6/Loop.8/Loop10

各ループジャックのリングで Loop6、Loop8、Loop10 を有効にするか無効にするかを選択します。

Func1 ～ Func4

Func1 ～ Func4 は、アンプのチャンネル切り替えに使用されるものと同じフットスイッチとして機能します。EFX-10D は 3 種類のスイッチに対応します。

Latched/ ラッチ - 機能スイッチはラッチスイッチとして機能します。

Momentary.A/ モーメンタリー A - ファンクションスイッチは、IA スwitchのオン / オフ時に動作するモーメンタリースイッチとして機能します。

Momentary.B/ モーメンタリー B - ファンクションスイッチは、IA スwitchがオンのときのみ動作するモーメンタリースイッチとして機能します。

Tempo Sync/ テンポ同期 - ファンクションスイッチは BPM と同期します。

4-5-3. Other/ その他

「Others」メニューでは、EFX-10D のその他の一般的な機能を設定することができ、9 つの詳細メニューに分かれています。

Global ▶ Others

Op.Mode	Preset
2nd.Press Pst	Glb.Pst
Pst/BankSong	4
Max.BankSong	200
Max.Page Scrl	4
Max.Page Exct	4
Hold Sw Time	1000ms
Hold Sw Scrl	Enabled
LCD Bright	5

Op.Mode/ 動作モード

EFX-10D の動作モード（プリセットモードまたは SET01 ～ SET64 モード）を決定します。セットモードの場合は、設定したタイトルが表示されます。

2nd.Press Pst/ 2 回目のプレスプリセット

すでにオンになっているプリセットのスイッチを押したときに、グローバルプリセットを使用するかどうかを決定します。

Pst/BankSong / バンク / ソングごとのプリセット

バンクまたはソングに使用するプリセットの数を決定します。

Max.BankSong/ 最大バンク

BANK ▼および BANK ▲スイッチを使用してアクセスするバンク / ソングの数を決定します。

Max.Page Scrl/ 最大ページスクロール

Page+ および Page- スwitchを通じてアクセスするページ数を決定します。

Max.Page Exct/ 最大ページ実行

プリセットを変更するときに実行するページ数を決定します。

Hold SW Time/ ホールドスイッチタイム

ホールドスイッチ機能の実行に必要な時間を決定します。(1,000 ～ 3,000 ミリ秒)

Hold Sw Scrl/ ホールドスイッチスクロール

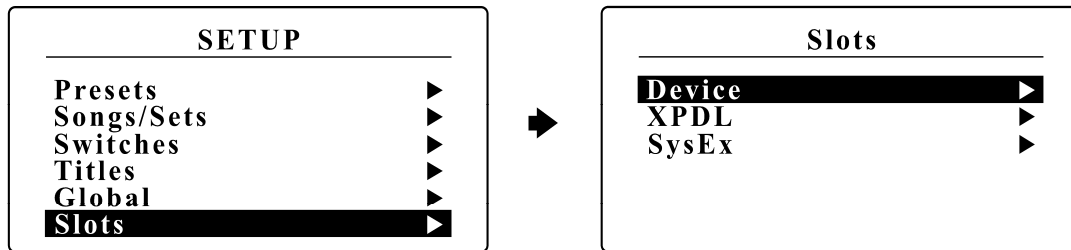
ホールドスイッチ機能を 1 回のみ実行するか、継続的に実行するかを設定します。

LCD Bright /LCD の明るさ

液晶画面の明るさを 10 段階で調整します。

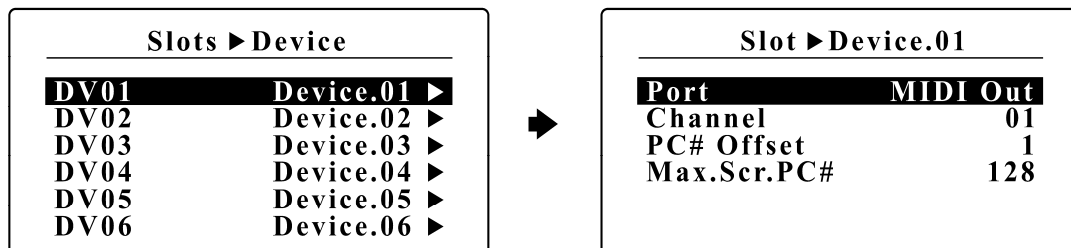
4-6. Slots/ スロット

スロットメニューでは、デバイス、XPDL、および SysEx スロットを使用して、MIDI メッセージのセットアップを容易にします。メインの SETUP メニューから Slots を選択すると、サブメニューへ移動できます。LCD ディスプレイにサブメニューが表示されます。



4-6-1. Device/ デバイス

EFX-10D は最大 16 台のデバイスが設定できます。16 個のデバイスが Device01 ～ Device16 として表示され、それぞれにポート、MIDI チャンネル、PC# オフセット、および最大スクロール PC# を割り当てることができます。



Port - 各デバイスに送信する MIDI ポート（MIDI Out または USB）を選択します。

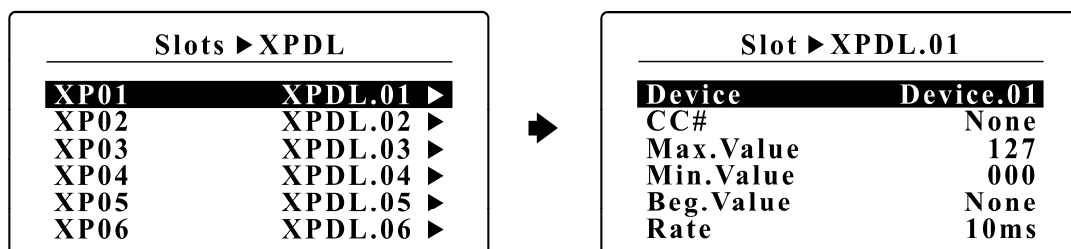
Channel - 各デバイスに送信する MIDI チャンネルを選択します。

PC# Offset - プログラム番号の最小値を 0 で表示するか 1 で表示するかを選択します。

Max.Scr.PC# - プログラム番号を増減するときの最大値を選択します。

4-6-2. XPDL

EFX-10D には、最大 64 個の XPDL スロットが搭載できます。64 個の XPDL スロットの 1 つをプリセットに割り当てることができます。



Device - このコントロールチェンジメッセージを受信するデバイスを選択します。

CC# - 送信するコントローラー番号を選択します。

Max.Value - ペダルが動かされたときに XPDL が送信できるコントローラーの最大値です。

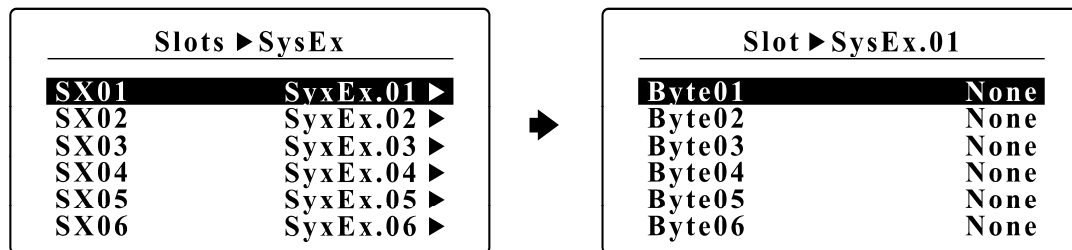
Min.Value - ペダルが動かされたときに XPDL が送信できる最小のコントローラー値です。

Beg.Value - 現在のプリセットが呼び出されたときに XPDL が送信する初期コントローラー値です。

Rate - XPDL CC 間の最小時間を選択します。

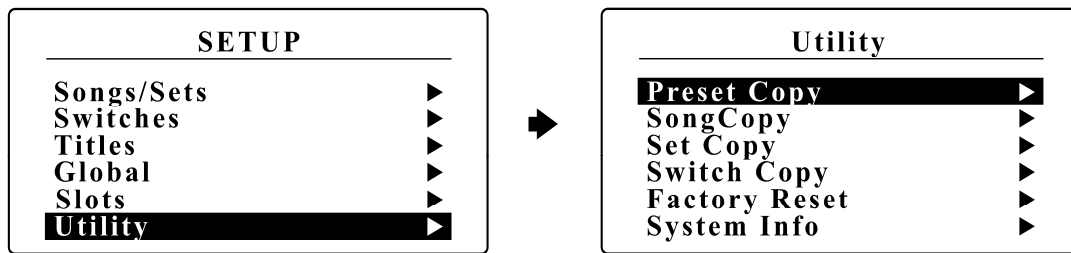
4-6-3. SysEx/ システム Ex

EFX-10D には、最大 64 個の MIDI システムエクスクルーシブスロットが搭載できます。1 つの MIDI システムエクスクルーシブスロットは、最大 16 バイト（最初の F0 と最後の F7 を除く）で構成されます。システムエクスクルーシブスロットは、MIDI がプリセットまたはスイッチに設定されている場合に割り当てることができます。



4-7. Utility/ ユーティリティ

ユーティリティメニューでは、コピーの設定、工場出荷時設定へのリセット、ユニットのシステム情報の確認が可能です。メインの SETUP メニューから Utility メニューを選択すると、サブメニューに移動できます。LCD ディスプレイにサブメニューが表示されます。



4-7-1. Preset Copy/ プリセットのコピー

プリセットコピーを使用すると、あるプリセットから別のプリセットにデータの一部またはすべてをコピーできます。

Utility ▶ Preset Copy	
Source	P001
Destination	P001
Copy Area	All

Source – ソースプリセットナンバー (P001 ～ P800)

Destination – 目的地プリセットナンバー
(P001 ～ P800 または ALL)

Copy Area – ソースプリセットの一部または全部を選択
(All, Audio, MIDI または Title)

4-7-2. Song Copy/ ソングのコピー

ソングコピーを使用すると、あるソングから別のソングにコピーできます。

Utility ▶ Song Copy	
Source	S001
Destination	S001

Source – ソースソングナンバー (S001 ～ S800)

Destination – 目的地ソングナンバー (S001 ～ S800)

4-7-3. Set Copy/ セットコピー

セットコピーを使用すると、あるセットから別のセットにコピーできます。

Utility ▶ Set Copy	
Source	S01
Destination	S01

Source – ソースセットナンバー (S01 ～ S64)

Destination – 目的地セットナンバー (S01 ～ S64)

4-7-4. Switch Copy/ スイッチコピー

スイッチコピーを使用すると、あるスイッチから別のスイッチにコピーできます。

Utility ▶ Switch Copy	
Source	PG1.SW1
Destination	PG1.SW1

Source – ソーススイッチナンバー (PG1.SW1 ~ PG8.SW9)

Destination – 宛先スイッチナンバー (PG1.SW1 ~ PG8.SW9)

4-7-5. Factory Reset/ 工場出荷時設定へのリセット

工場出荷時設定にリセットすると、内部 EEPROM メモリーのユーザーデータ領域が消去されます。

Utility ▶ Factory Reset	
Are You Sure?	(Y/N)

SW#1 を 1 秒間長押しすると、工場出荷時設定へのリセットが開始されます。

4-7-6. System Info/ システム情報

システム情報では、ユニットのシステム情報を確認できます。

Utility ▶ System Info	
Serial No.	N123456
Firmware	1.00
Data Format	1.00
Hardware	1.00

Serial No. - ユニットのシリアルナンバー

Firmware - ユニットのファームウェアのバージョン

Date Format - ユニットのデータ形式バージョン

Hardware - ユニットのハードウェアバージョン

5. ファームウェアアップデート

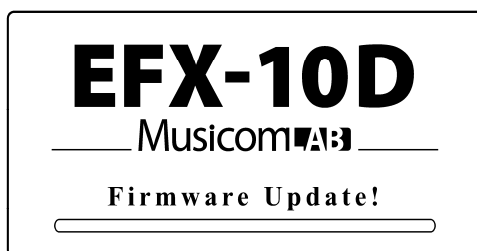
新しい機能が追加やバグが修正されたりすると、新しいファームウェアが定期的にリリースされます。
新しいファームウェアへのアップデートは、以下の手順で行なってください。

① 以下のリンクから新しいファームウェアと EFX-10D Editor ソフトウェアをダウンロードします。
EFX-10D Editor ファイルをインストールして実行します。

<http://musicomlab.com/efx-10d.htm>

② EFX-10D と PC/Mac を USB ケーブルで接続します。

③ ファームウェアアップデートモードに入るには、BANK ▼スイッチと BANK ▲スイッチを押したまま電源を接続します。



④ EFX-10D エディターの上部にあるプログレスバーに「Connected SN:xxxxxxx Update Mode」が表示されるまで待ちます。

⑤ エディター画面上部の「FILE/TRANSFER」タブをクリックします。

⑥ 「FIRMWARE UPDATE」領域の「OPEN」ボタンをクリックして、新しいファームウェアファイルをロードします。

⑦ 「UPDATE」ボタンを押してアップデートを開始します。

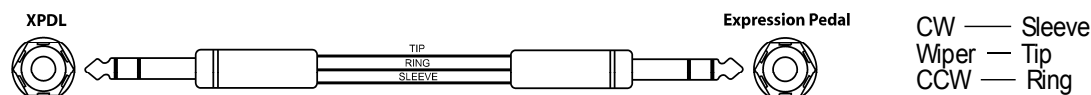
- PC/Mac がスリープ状態にならないように注意してください。
- 所要時間は約 4 ～ 7 分です。

6. ケーブル

6-1. XPDL

XPDL & Expression Pedal (XPDL ↔ エクスプレッション・ペダル)

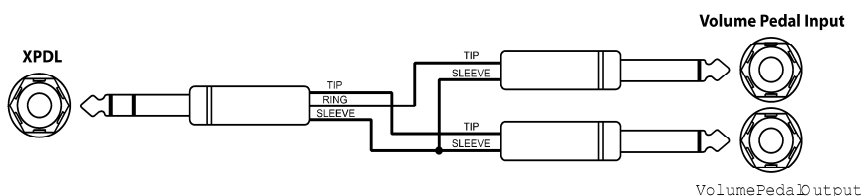
必要なケーブルは、図のようなステレオ (TRS) からステレオ (TRS) の 1/4 インチ フォーンプラグです。



- アクティブボリュームペダルやエクスプレッション・ペダルは使用しないでください。

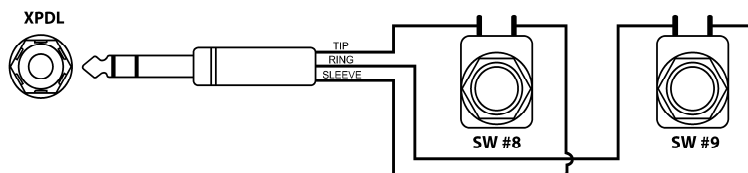
XPDL & ボリュームペダル

パッシブボリュームペダルがエクスプレッション・ペダルとして使用できます。必要なケーブルは、図のようなステレオ (TRS) と 2 つのモノラル (TS) 1/4 インチ フォーンプラグです。チップ (ステレオプラグ) をペダル出力に、リングをペダル入力に、スリーブを 3 つのプラグすべてのアースに接続します。



- アクティブボリュームペダルやエクスプレッション・ペダルは使用しないでください。

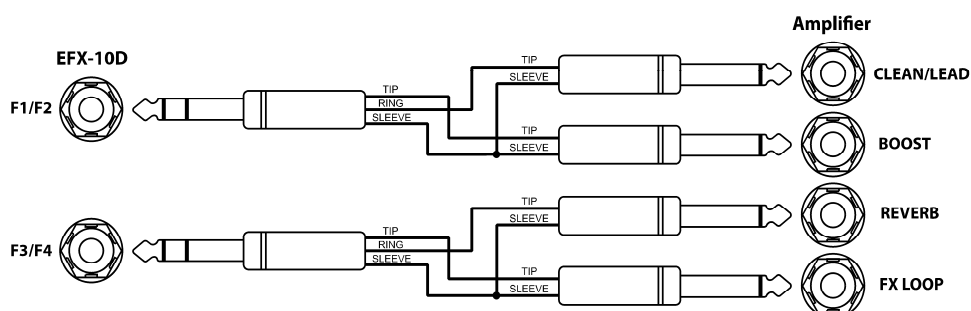
XPDL & 2 つのフットスイッチ



- 外部スイッチを接続する場合は、モーメンタリーノーマルオープンまたはモーメンタリークローズスイッチを接続します。
22 ページの「4.5.1 MIDI > Rpt.PC / XPDL.Src」をご覧ください。

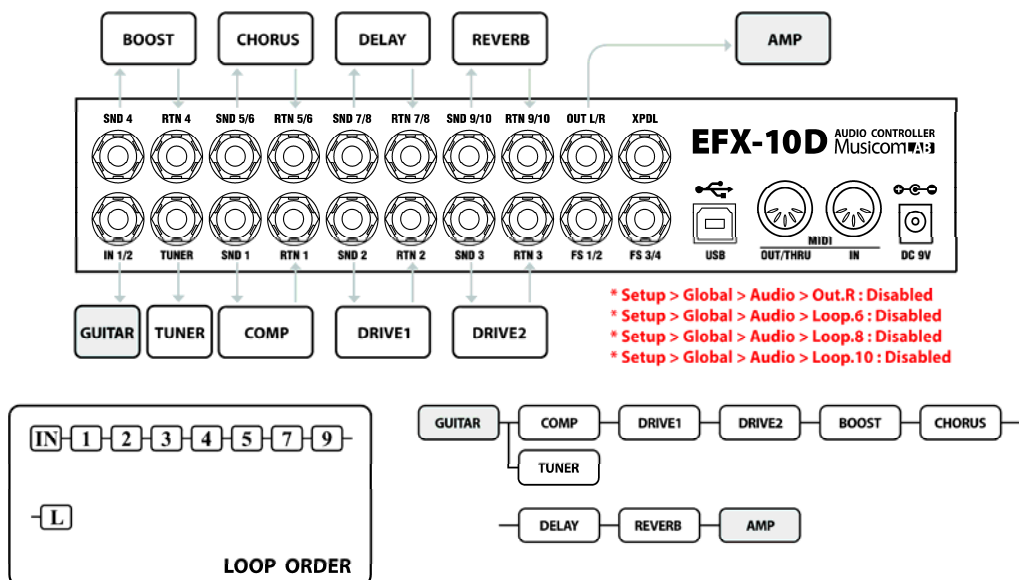
6-2. ファンクションスイッチ

必要なケーブルは、図のようなステレオ (TRS) から 2 つのモノラル 1/4 インチ フォーンプラグです。

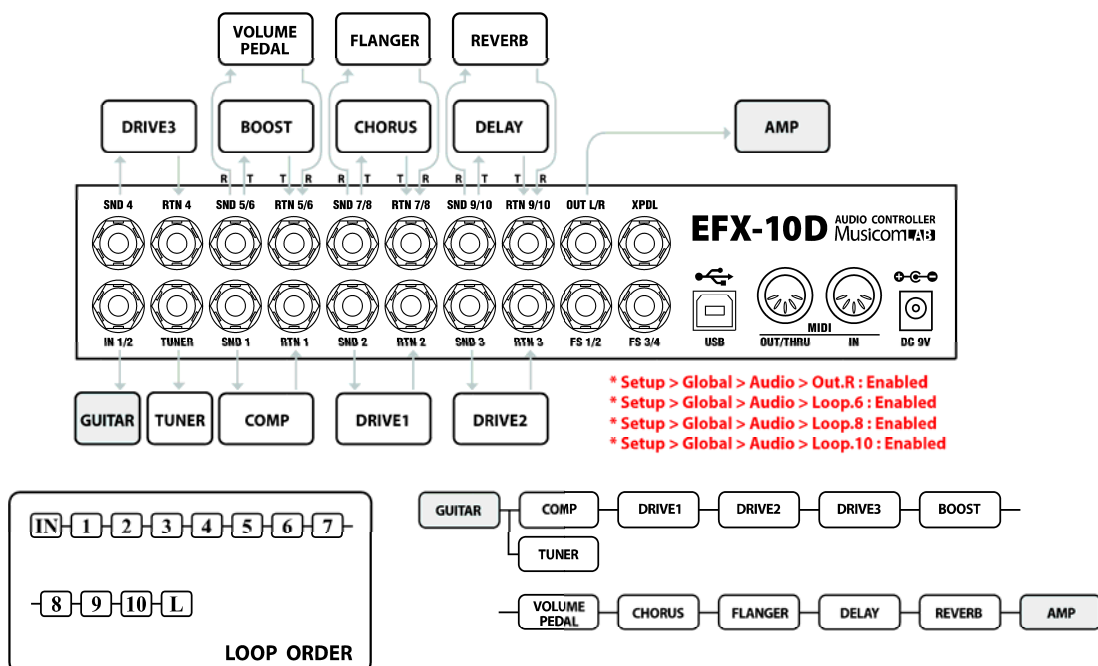


7. 接続サンプル

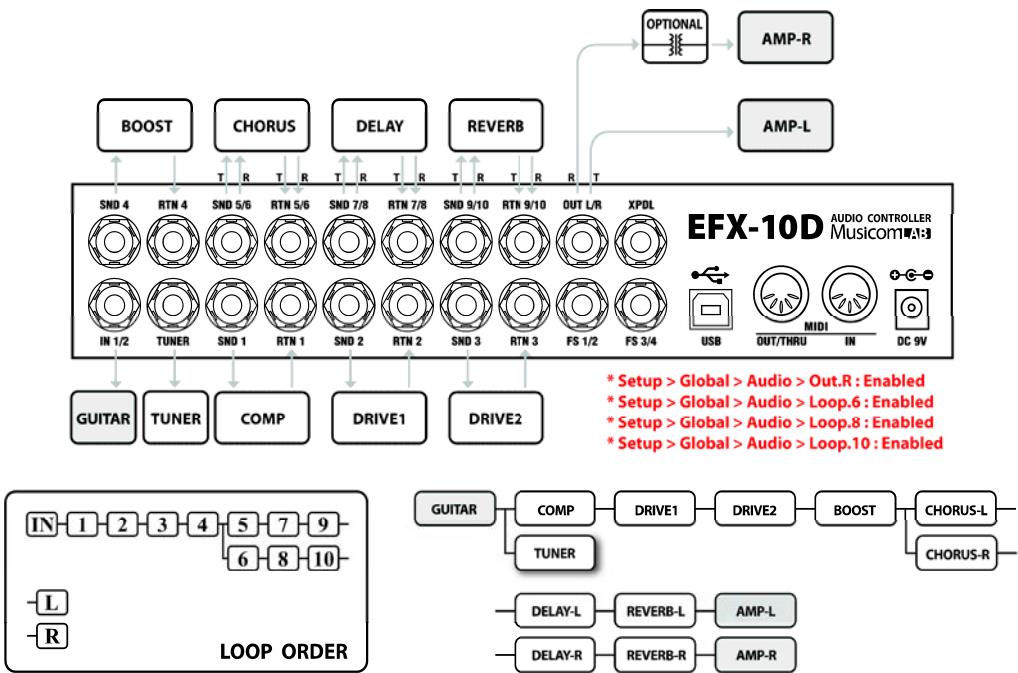
7 ループの接続例



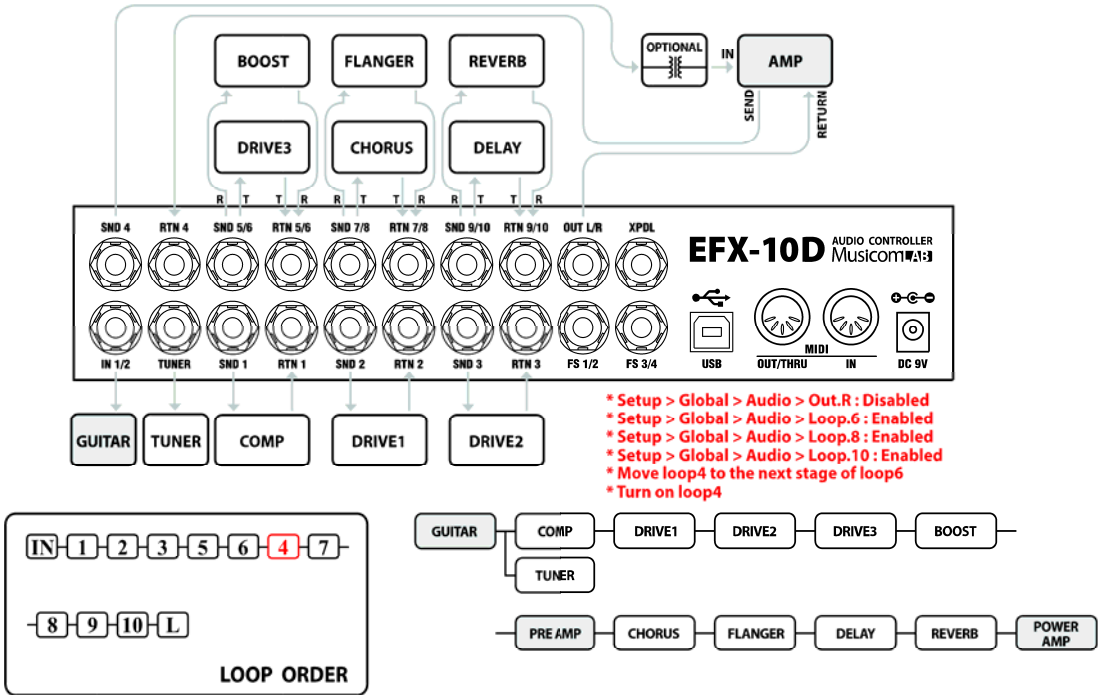
10 ループの接続例



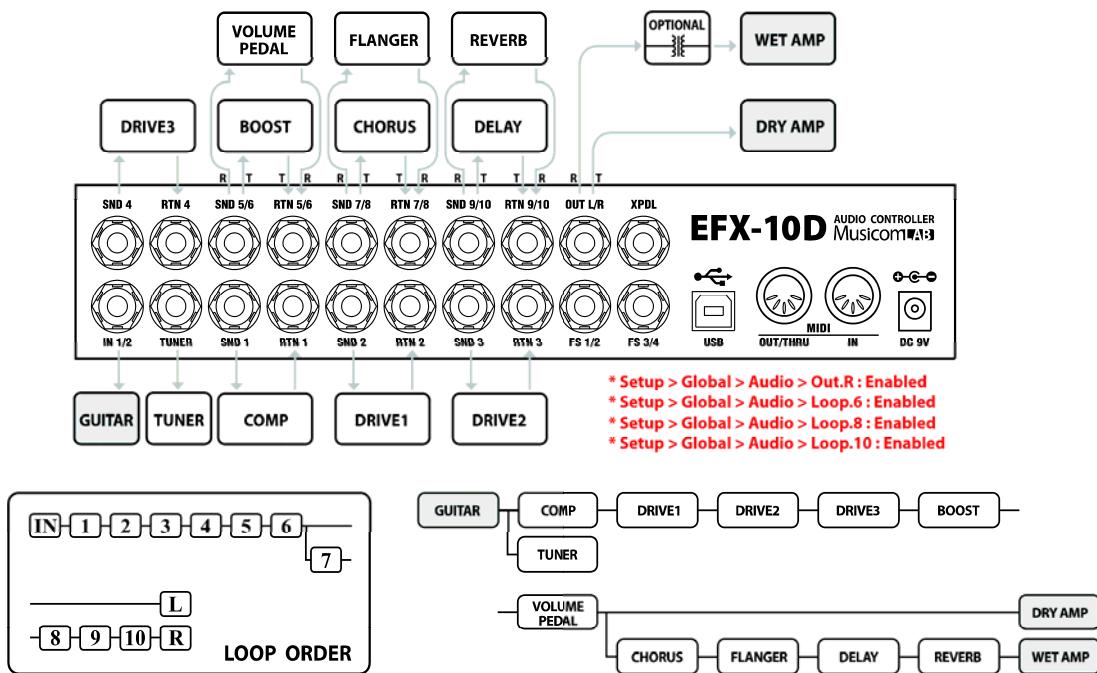
3 台のステレオ FX との接続例



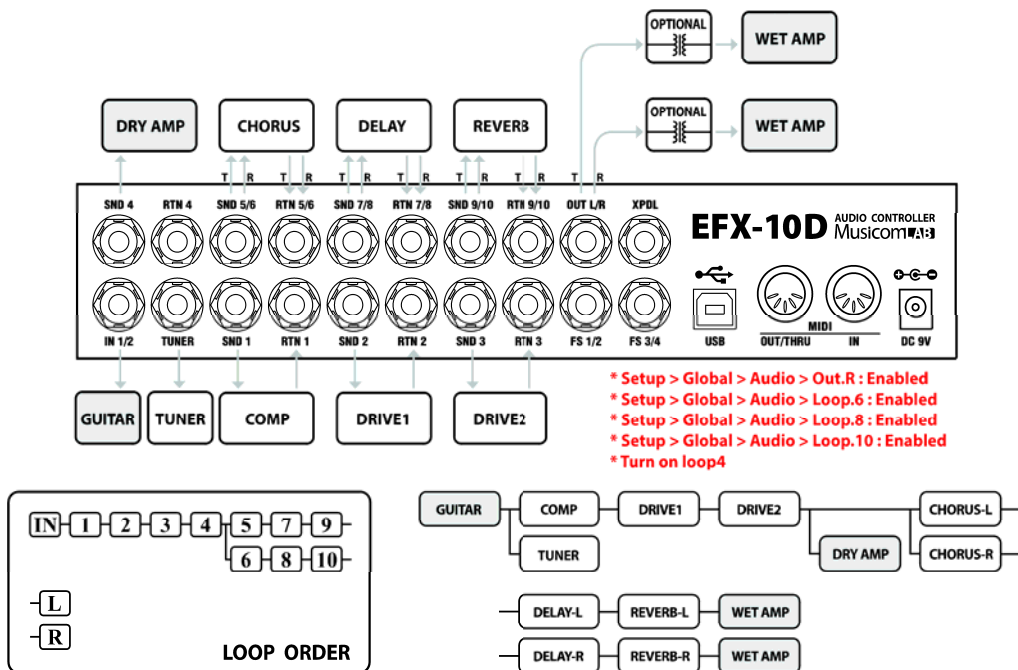
4 コネクション方式のモノ接続例



Wet / Dry



Wet / Dry / Wet



8. MIDI スペシフィケーション

MIDI プリセットの変更

これらのプリセットへの MIDI アクセスは、MIDI プログラムチェンジメッセージとして利用できます。

MIDI 経由で、プリセットには連続した番号が付けられます。

PRESET MODE		SET MODE	
CC# : 000 VALUE : 000		CC# : 000 VALUE : 000	
PRESET 001	PC # 001	SONG 001 - P1	PC # 001
PRESET 002	PC # 002	SONG 001 - P2	PC # 002
PRESET 003	PC # 003	SONG 001 - P3	PC # 003
...	...	SONG 001 - P4	PC # 004
PRESET 128	PC # 128		
CC# : 000 VALUE : 001		CC# : 000 VALUE : 001	
PRESET 129	PC # 001	SONG 002 - P1	PC # 001
...
PRESET 256	PC # 128	SONG 002 - P4	PC # 004
...		...	
CC# : 000 VALUE : 005		CC# : 000 VALUE : 118	
PRESET 641	PC # 001	SONG 119 - P1	PC # 001
...
PRESET 768	PC # 128	SONG 119 - P4	PC # 00
CC# : 000 VALUE : 007		CC# : 000 VALUE : 119	
PRESET 769	PC # 001	SONG 120 - P1	PC # 001
...	...	SONG 120 - P2	PC # 002
PRESET 800	PC # 032	SONG 120 - P3	PC # 003
GLOBAL PRESET	PC # 033	SONG 120 - P4	PC # 004

- CC#000 is MIDI Bank Select MSB message.
- Preset mode : Preset # = (MSB x 128) + PC #
- Set mode : Song # = MSB + 1 , Preset = PC #

個別のループコントロール

個々のループ、出力、機能スイッチは、MIDI コントロールチェンジメッセージで制御できます。

MIDI 経由で、プリセットには連続した番号が付けられます。

CC#	VALUE	RANGE	CC#	VALUE	RANGE
LOOP 1	80	OFF(0-63) ON(64-127)	IN 2	90	OFF(0-63) ON(64-127)
LOOP 2	81	OFF(0-63) ON(64-127)	IN BUFFER	91	OFF(0-63) ON(64-127)
LOOP 3	82	OFF(0-63) ON(64-127)	OUT L	92	OFF(0-63) ON(64-127)
LOOP 4	83	OFF(0-63) ON(64-127)	OUT R	93	OFF(0-63) ON(64-127)
LOOP 5	84	OFF(0-63) ON(64-127)	FUNC.SWITCH 1	94	OFF(0-63) ON(64-127)
LOOP 6	85	OFF(0-63) ON(64-127)	FUNC.SWITCH 2	95	OFF(0-63) ON(64-127)
LOOP 7	86	OFF(0-63) ON(64-127)	FUNC.SWITCH 3	96	OFF(0-63) ON(64-127)
LOOP 8	87	OFF(0-63) ON(64-127)	FUNC.SWITCH 4	97	OFF(0-63) ON(64-127)
LOOP 9	88	OFF(0-63) ON(64-127)	MUTE	98	OFF(0-63) ON(64-127)
LOOP 10	89	OFF(0-63) ON(64-127)			

9. 安全にご使用いただくために



WARNING

- 火災や感電の危険を減らすため、この機器を雨や湿気への露出を避けてください。
- デバイスに静電気放電 (ESD) を発生させないでください。

CAUTION

- 火災や感電の危険を減らすため、ネジを取り外さないでください。
- 内部にはユーザーが修理できる部品はありません。
- このデバイスには、損傷を受けやすいコンポーネントが含まれています。
- 静電気放電 (ESD)。
- サービスは資格のあるサービス担当者に依頼してください。

10. 品質保証

■ 品質保証に関して

本機は、Musicom LAB 日本総代理店 オールアクセスインターナショナル株式会社がご購入後 1 年以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書（購入期日及び販売店捺印必須）を提示の上、ご購入の販売店に御依頼下さい。保証書の提示が無い場合、保証内であっても 1 年以内の保証の対象にはなりません。また、全ての商品には、シリアルナンバーが登録されています。

本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及びそれに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

▲警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いてご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。
3. 本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

■ 電源ソース

電源は、DC9V / 250mA 以上（センター・マイナス）の電源アダプターに接続して下さい。

エアコン（エアコンディショナー、冷暖房機器）等の使用により、電圧が著しく低下する場合がありますから、家庭用 100V 電源が正しく出力されているかどうかテスターで確認しましょう。また、長時間本機を使用しない場合は、本機の電源コードをコンセントから抜いておきましょう。

■ 取り扱いについて

乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。
クリーナーやシンナーは使用しないで下さい。

■ サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や取扱いは行わないで下さい。記載外の使用方法で本機を使用されますと製品不良が発生する場合があります。必ず本書に基づいた使用方法で使用して下さい。

記載外の使用方法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。本体の取扱いは慎重に行ってください。

万が一、負傷された場合でも弊社では一切の責任を負いません。
修理が必要な場合は、ご購入先もしくは、弊社へご依頼下さい。

Musicom LAB 正規輸入代理店

オールアクセスインターナショナル 株式会社

WEB：allaccess.co.jp/musicomlab/

E-mail：support@allaccess.co.jp

〒490-1116 愛知県あま市本郷三反地21番地